

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
【発行日】 平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公表番号】 特表 2001-507745 (P2001-507745A)

【公表日】 平成 13 年 6 月 12 日 (2001.6.12)

【出願番号】 特願 平 10-530343

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 51/00

C 0 8 F 255/00

C 0 8 F 283/06

C 0 8 J 3/20

C 0 8 L 71/02

【F I】

C 0 8 L 51/00

C 0 8 F 255/00

C 0 8 F 283/06

C 0 8 J 3/20 C E S Z

C 0 8 L 71/02

【手続補正書】

【提出日】 平成 16 年 12 月 13 日 (2004.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 補正の内容のとおり

【補正方法】 変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 16.12.13 年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成 10 年特許願第 5 3 0 3 4 3 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 キンバリー クラーク ワールドワイド
インコーポレイテッド

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「22」
となりました。)

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り



請求の範囲

1. 約1重量%～約85重量%の変性ポリオレフィンと、約99重量%～約15重量%の変性ポリ（エチレンオキシド）とを有するブレンドを含み、該変性ポリオレフィン及び変性ポリ（エチレンオキシド）が、該ポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）の重量基準で、全体で約1重量%～約30重量%のモノマーでグラフトされていることを特徴とする組成物。
2. 約30重量%～約85重量%の該変性ポリオレフィンと、約70重量%～約15重量%の該変性ポリ（エチレンオキシド）とを含む、請求の範囲第1項に記載の組成物。
3. 約55重量%～約85重量%の該変性ポリオレフィンと、約45重量%～約15重量%の該変性ポリ（エチレンオキシド）とを含む、請求の範囲第1項に記載の組成物。
4. 該ポリオレフィンが、ポリエチレンである、請求の範囲第1項に記載の組成物。
5. 該ポリオレフィンが、ポリプロピレンである、請求の範囲第1項に記載の組成物。
6. 該変性ポリオレフィン及び該変性ポリ（エチレンオキシド）が、全体で約1重量%～約20重量%の、これらにグラフトされたモノマーを含む、請求の範囲第1項に記載の組成物。
7. 該変性ポリオレフィン及び該変性ポリ（エチレンオキシド）が、全体で約1重量%～約10重量%の、これらにグラフトされたモノマーを含む、請求の範囲第1項に記載の組成物。
8. 該モノマーが、2-ヒドロキシエチルメタクリレートである、請求の範囲第1項に記載の組成物。
9. 該モノマーが、ポリエチレングリコールエチルエーテル（メタ）アクリレートである、請求の範囲第1項に記載の組成物。
10. 単一バスの押出機内で、所定量のポリオレフィン、所定量のポリ（エチレンオキシド）、所定量のモノマー及び十分な量のラジカル開始剤を溶融混合して、該ポリオレフィン及び該ポリ（エチレンオキシド）上に、約1重量%～約100重

量%の該モノマーをグラフトすることにより、該ポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）を変性する工程を含むことを特徴とする、変性ポリオレフィンと変性ポリ（エチレンオキシド）とのブレンドを調製する方法。

11. 変性ポリオレフィンと、変性ポリ（エチレンオキシド）とのブレンドの調製方法であって、単一パス押出機を使用して、

a) 所定量のポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）を溶融混合する工程；及び

b) 該溶融混合したポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）に、所定量のモノマー及び十分な量のラジカル開始剤とを添加して、該モノマー約1%～100%を、該ポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）にグラフトすることにより、該ポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）を変性する工程；
を行うことを含む、上記ブレンドの調製方法。

12. 変性ポリオレフィンと、変性ポリ（エチレンオキシド）とのブレンドの調製方法であって、単一パス押出機を使用して、

a) 所定量のポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）を溶融混合する工程；

b) 該溶融混合したポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）に、該ポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）の量を基準として、約1重量%～約30重量%のモノマーを添加する工程；及び

c) 該溶融混合した成分(a)及び(b)に、十分な量のラジカル開始剤を添加して、約1%～100%の該モノマーを、該ポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）にグラフトすることにより、該ポリオレフィン及びポリ（エチレンオキシド）を変性する工程

を行うことを含む、上記ブレンドの調製方法。

13. 該変性ポリオレフィンが、該ブレンドの約1重量%～約85重量%を構成し、該変性ポリ（エチレンオキシド）が、該ブレンドの約99重量%～約15重量%を構成する、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。

14. 該変性ポリオレフィンが、該ブレンドの約30重量%～約85重量%を構成し、該変性ポリ（エチレンオキシド）が、該ブレンドの約70重量%～約15重量%を構

成する、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。

15. 該変性ポリオレフィンが、該ブレンドの約55重量%～約85重量%を構成し、該変性ポリ（エチレンオキシド）が、該ブレンドの約45重量%～約15重量%を構成する、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。

16. 該ポリオレフィンが、超高分子量ポリエチレン、高密度ポリエチレン、超低密度ポリエチレン、低密度ポリエチレン、線状低密度ポリエチレン及びポリプロピレンからなる群から選択される、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。

17. 該ラジカル開始剤が、ベンゾイルパーオキシド、ジ-*t*-ブチルパーオキシド、ジクミルパーオキシド、クミルブチルパーオキシド、1,1-ジ-*t*-ブチルパーオキシ-3,5,5-トリメチルシクロヘキサン、2,5-ジメチル-2,5-ジ-(*t*-ブチルパーオキシ)ヘキサン、2,5-ジメチル-2,5-ビス(*t*-ブチルパーオキシ)ヘキシン-3、ビス(*a*-*t*-ブチルパーオキシイソプロピルベンゼン)、*t*-ブチルパーオキシピバレート、*t*-ブチルパーオクトエート、*t*-ブチルパーベンゾエート、2,5-ジメチルヘキシル-2,5-ジ(パーベンゾエート)、*t*-ブチル-ジ(パーフタレート)、*t*-ブチルヒドロパーオキシド、*p*-メタンヒドロパーオキシド、ピナンヒドロパーオキシド、クメンヒドロパーオキシド、シクロヘキサノンパーオキシド及びメチルエチルケトンパーオキシドからなる群から選択される、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。

18. 該押出機に添加される該ラジカル開始剤の量が、該モノマーの量を基準として、約0.1重量%～約10重量%の範囲にある、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。

19. 該ポリオレフィン及び該ポリ（エチレンオキシド）の量を基準として、約1重量%～約20重量%のモノマーを該押出機に添加する、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。

20. 該ポリオレフィン及び該ポリ（エチレンオキシド）の量を基準として、約1重量%～約10重量%のモノマーを、該押出機に添加する、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。

21. 該モノマーが、2-ヒドロキシエチルメタクリレートである、請求の範囲第10

～12のいずれか1項に記載の方法。

22. 該モノマーが、ポリエチレングリコールエチルエーテル（メタ）アクリレートである、請求の範囲第10～12のいずれか1項に記載の方法。